

・頭痛、片頭痛：頭痛は頭部の充血に伴って起こり、主に後頭部から始まり、首や肩の筋肉に痛みが広がります。その後、前頭部に広がる例もあります。眼球に打撲様の痛みを感じることもあります。視覚異常を伴うことがあります。

・多発性硬化症

・めまい：倒れそうになったり、落ちそうになる感覚になります。

・重症筋無力症

■眼の症状

・かすみ目

・眼球振とう

・二重視：頭痛の前後に起こりやすい傾向があります。また、眼球を支える筋肉群の緩みによって起こることがあります。

・眼瞼下垂症：目がとろんとして、瞼が下りてきます。目を開けているのがたいへんになります。

■風邪やインフルエンザ：衰弱感や疲労感が強く、ふるえが起こります。体の節々が痛くなり、筋肉痛や四肢の重くだるい状態になります。寒気が背筋を行ったり来たりします。頭部の充血により、顔は赤暗色になり、頭痛を伴うことがあります。発熱状態でも、喉はあまり渴きません。

■予期不安や先行する恐怖：Argentum nitricumは動揺し、Gelsemiumは麻痺します。各種恐怖症や試験などの前に、緊張やあがり症によって、足がふるえて力が入らなくなってしまいます。下痢や頻尿などの症状を呈す例もあります。

■不眠症：予期不安や興奮のために、眠れなくなるこ

とがあります。

■難産：Caulophyllumと併用することによって、陣痛を規則正しく収縮させる補助をします。妊娠中に他のレメディと併用して、分娩が有意に楽になったという報告があります。

■花粉症

■膝蓋骨の脱臼傾向：初期の状態

■その他

・慢性疲労症候群

MODALITY

▶ 新鮮な空気、多量の排尿や発汗後、前にかがむこと、目を閉じること、アルコールなど

◀ 感情的ストレス、怖れ、恐怖、悪い知らせ、ジメジメした天気、春、寒い湿った気候、暑さ、嵐の前、試験や演説などの前の予期不安、病気について考えること、午前10時頃、菌生など

注) インフルエンザのレメディには、Gelsemiumのほかにも、Arnica, Arsenicum album, Baptisia, Bryonia, Eupatorium perfoliatum, Nux vomica, Oscillocochinum, Rhus toxicodendronなどがあります。また予防には、Influenzinumなどがあります。

●マチン科のレメディ

OGANIACEAE マチン科 (Strychnos) : Gelsemium sempervirens, Ignatia amara, Nux vomica, Brucea antidysenterica, Brucinum nitricum, Curare woorari, Hoang nan, Spigelia anthelmia, Spigelia marilandica, Strychninum purum, Strychninum nitricum, Strychninum valerianicum, Upas tieute, Upas antiaris

Glonoinum ニトログリセリン $C_3H_5(NO_3)_3$ [ズキズキする脈動]

Nitro-glycerine $C_3H_5(NO_3)_3$

BACKGROUND

ニトログリセリンは、ダイナマイトの原料として有名です。1846年に Ascanio Sobrero によってはじめてつくられました。濃硫酸と濃硝酸、発煙硫酸を混合した溶液に、グリセリンを添加してつくられます。無色で油状の液体ですが、非常に不安定で衝撃や熱によって爆発を起こします。

Glonoinum の名はヘリングによって、Glycyl-Oxyd and Nitrogen Oxygen に因んで命名されました。

微量のニトログリセリンは、血管拡張作用があるので、狭心症、心筋梗塞、急性心不全による発作時の緩解目的で、治療薬として用いられます。

適量をしっかりと守らないとさまざまな副作用が起こります。

・循環器系：血圧低下、動悸、頻脈、中心静脈圧の上昇、脳貧血、顔面紅潮、心拍出量低下、期外収縮、チアノーゼなど

・精神神経系：頭痛、頭重感、めまい、耳鳴り、意識

障害、痙攣、失神

- ・皮膚：発疹、接触性皮膚炎、かゆみ、疼痛
- ・消化器系：吐き気、嘔吐、下痢、口内炎、肝機能障害
- ・その他：全身倦怠感、疲労感、口渇、発汗、尿失禁、便失禁、頸部硬直感

慢性中毒例では、持続性の頭痛、幻覚、幻聴、皮膚発疹などが主な症状です。

FIRST PROVING

Hering

MIND

Glonoinum タイプは、血色が良く、高血圧で神経質です。血管運動神経性の紅潮や、高血圧症の急な発作を起こす傾向があります。血が頭に昇って、混乱してしまうことがあります。たとえば、激しい頭痛の後に、いつもの道を迷ってしまうといったようなこともあります。

ワインは嫌いなことがありますが、冷たい飲物は好きです。

AFFINITY

Glonoinum は、主に脳、神経系、血管神経などに作用します。右側優勢レメディです。ズキズキする脈動が特徴です。

CLINICAL APPLICATIONS

臨床では、強い血管拍動を伴う疾患に考慮されます。このレメディは、とくに日射病、熱射病、急激な感情的ストレスの後などの症状にも考慮されます。また、更年期の女性にも効果的な場合があります。

■脳神経系

- ・頭痛：頭痛は頭部全体に起こる、充血性、うっ血性の頭痛が特徴です。一般的には、高血圧の人や日射病の人によく見られるタイプです。ズキズキして頭が割れそうに痛みます。直射日光が頭に当たることによっても、頭痛が起こります。頭を暑くすると悪化します。頭がすごく重く感じることがありますが、枕の上に横になることができません。連続して頭を殴られるような頭痛を感じる場合があります。月経の前中後の頭痛。頭が大きく膨張した感じがして、脳が頭蓋骨よりも大きく感じてしまうことがあります。頭痛は睡眠後や患部の圧迫で楽になります。

・髄膜炎

・てんかん

・痙攣

・神経痛、坐骨神経痛：痛みは、破裂するようでズキズキします。夜に痛む傾向があります。

・顔面神経痛

・めまい：高血圧です。

■心血管系

・激しい動悸：頸動脈がズキズキすることがあります。呼吸困難を伴うこともあります。指先まで全身で脈動を感じることがあります。突然の激しい不整脈になることがあります。

・高血圧症

・更年期障害による顔面紅潮

・鼻血：太陽熱に曝されていると起こります。鼻の根元部分に痛みを感じる場合があります。頭痛の痛みが鼻にまで達することもあります。

・狭心症：心臓の痛みが放射状に広がります。

■消化器系

・吐き気、嘔吐：頭部の充血や日射病により起こります。

・歯痛：すべての歯がズキズキ痛みます。頭痛に伴って起こることもあります。温めると悪化します。

■その他

・バセドウ病

■特異的な感覚：顎が長すぎるような感覚、脳が広がっていく感覚、襟首から温水が上に流れていくような感覚、何かが頭頂部から注ぎこまれる感覚、眼球が中から外へ引っ張られる感覚、左耳に心臓からの音が入ってくる感覚、心臓が喉まで上がってくる感覚などがあります。

MODALITY

▶ 外気、頭をもち上げること、患部の圧迫、冷湿布、コーヒー、お茶など

◀ 暑さ、強い日差し、火、夏、長時間の暑い場所での作業、運動、ワイン、長時間の乗車や乗馬、午前6時から正午まで横になること、騒音、散髪、帽子、桃、かがむことなど

RELATIONS

・ Antidoted by : Aconite, Camphora, Coffea, Nux vomica